



今回特別に結婚雑誌にも載っていない御岳山の結婚式のアレコレを紹介したいと思います。御岳山の結婚式は、一味違います。結婚式の準備にあたり、日取りや神社での式、招待者への案内など5人組と呼ばれる人々が新郎新婦と相談して式を取りまとめられます。

5人組（組合とも呼ばれています）とは、隣、近所の4～5の家で組織された組合のことで、この風習が未だに残っています。したがって、式は5人組を中心に、その家と付き合いのある家の協力によって準備が行われるのです。

男衆は、神社での祭事の準備や手配をします。皆、神社のことならお手の物。

なんと言っても御岳山は御師の集落なので神職がたくさんいるからです。祭員や、伶人（龍笛、笙、箏、筆樂）の、着付けや準備もみんなですべて分擔します。

女衆は自宅で行われる披露宴の準備をします。大勢の方々をお呼びするので、食器が足りない時は、近隣の家に貸してもらい、料理もみんなですべて協力して手際よく作ります。そうそう、宿坊の女将がほとんどなので、料理がこれまた絶品なのです。

今回は、結婚式の準備の話までとしたいと思います。続きは次号で。（解説員 馬場）



## 御岳山でちょい



### 自然の見方 ～写真を通して～

ビジターセンターの解説員として、大切な仕事のひとつは展示物やホームページに掲載する写真を撮ることである。とにかく多くの写真を「記録」として撮影すること、それが目的であった。しかし、ある時から撮影した写真が変わってきた。

きれいだな、面白いなと思ったらまずカメラを向けてみる。正面から、斜めから、下から上から、時には被写体にグッと近づいてみたり、逆光なんかお構いなしにシャッターをきいてみたり。一つの被写体を色々な角度から見て写真を撮るようになった。そしてストーリーを頭の中に描きながら写真を撮るようになったことも、写真が変わるポイントになった。冬のロックガーデンでは沢の水が跳ね上がって凍り、その氷は色々な形で現れる。この氷を撮る時には「冬の静寂」、「モノクロの世界」といったことを頭に思い描きながら写真を撮っている。他には異なる視点を持つことも大切。紅葉シーズンには樹木を見上げながら写真を撮ることが多いが、地面に葉が落ちて紅葉の絨毯が一面に敷き詰められた情景もハッとさせられる。

このように写真は「記録」としての写真から、「伝える」ための写真に変わってきた。そして写真を撮っていて気づいたことが一つ。試行錯誤しながら写真を撮ることは、実は自然を色々な角度から見ることになる。写真は楽しみながら「自然の見方」を伝えてくれる一つの手段なのかもしれない。（解説員 宮田）



ヤマネにはじまり  
タカチホヘビ、  
イスカなど  
今年は珍客に  
沸いたよ！

制作・発行

### 御岳ビジターセンター

〒198-0175 東京都青梅市御岳山38-5

開館（9:00～16:30）休館（月曜日 ※祝日の場合は翌日）

TEL 0428-78-9363 FAX 0428-78-9445

HP <http://mitakevc929.ec-net.jp/>

2017年12月1日 第8号

御岳ビジターセンターが照らす...



# 備

もう間もなく初雪が降る

ツガの実にヒガラたちが集まってくる

「チチピ チィー チィー」

仲間がいることを確認しながら

食事をしているみたい

厳しい冬を生き抜くために



# ぶら下がり食べ

12月6日  
6時52分  
in 長尾平



**アオゲラ**

木をススーっとのぼった次の瞬間  
ぶら下がりコツコツ食べはじめた  
キツキが実を食べていたことに衝撃！  
その後も頻繁にあらわれ  
足しげく通っていることが分かった

12月13日  
11時55分  
in 十字路



**コゲラ**

この日も店の奥へ！  
華麗にぶら下がり  
器用にお食事  
こう見えて  
じつは常連客

# 立ち食い 1人で黙々と

12月10日  
11時57分  
in ケーブル道



**ハシボソガラス**

てっぺんに陣取り  
掟破りの貸切状態に…  
大きな嘴で小さな実を  
ちまちまと食べる姿は  
なんだか微笑ましい

12月9日  
15時00分  
in 長尾平



**ツグミ**

この日はカラスザンショウ亭に…  
またある日はヌルデ亭に…  
はしごが大好き？

12月6日  
6時52分  
in 長尾平



**シハラ**

周りをとっても気にする  
はずかしがり屋さん  
安心したら今だと言わんばかりに  
口に放り込む、その早いこと…

12月6日  
7時10分  
in 長尾平



**ヤマガラ**

「ニイニイ」と鳴きながら  
ふらっと立ち寄るも  
数粒食べるなり帰ってしまった  
お口に合わなかった？  
来店はこの日限りに…

# 落ちてる実を ごっつあんです

11月30日  
8時30分  
in ケーブル道

**キジバト**



地面からカサカサと音が  
その音で来店に気づく  
どうやら他の鳥がこぼした  
実をひろって食べていたようだ  
しっかり者！

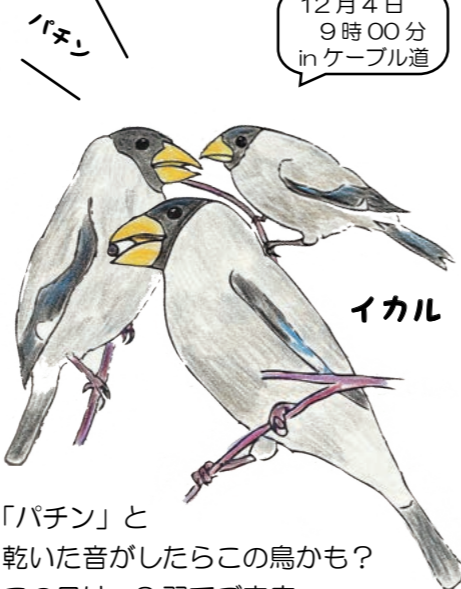
# カラスザンショウ亭

繁盛店？

**カ**ラスザンショウの実は多くの鳥が集う人気の木、  
図鑑にはこう書かれている。言うなれば、  
鳥にとっての人気の食堂「カラスザンショウ亭」これってホント？  
疑い深い解説員は、自分の目で確かめたくなった。  
そこで今回、検証してみた！  
題して「カラスザンショウの実は、御岳山でも鳥に大人気?!」  
繁盛店か…それとも…、結果はいかに??

# 立ち食い 仲間とワイワイ

12月4日  
9時00分  
in ケーブル道



**イカル**

「パチン」と  
乾いた音がしたらこの鳥かも？  
この日は、8羽でご来店  
立派な嘴で固い実を  
パチンと割って食べていた  
タネを割られてしまっちゃ  
お店はありがた迷惑…

12月10日  
11時12分  
in ケーブル道



**ヒヨドリ**

この日も数羽で早めのランチ？  
「ヒーヨ ヒーヨ」とっても賑やか  
おまけに、我がもの顔で  
他の鳥を追い払う始末…  
一歩間違えれば出入り禁止？

12月25日  
12時10分  
in ケーブル道



**メジロ**

いつも数羽で仲良く来店  
今日は仲間と？それとも夫婦で？  
行けば必ずそこにいるくらい  
超常連客

# ホバリング食べ

12月18日  
10時05分  
in ケーブル道



**ジョウビタキ**

彼の食べ方は、かなり個性的  
目の前の実を食べずホバリングして  
少し先にある実を食べる  
そして枝に戻ると少し得意げな表情  
飛びながらの食事がお得意？

12月6日  
7時00分  
in 長尾平

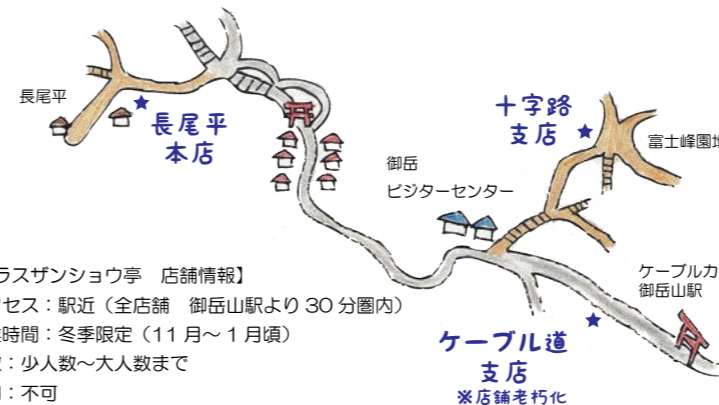


**ルリビタキ**

枝に止まった彼は  
ホバリングして一瞬で実を食べた  
それを数回繰り返して  
サッと藪の奥へ消えていった  
できる男は食事もスピーディー？

# カラスザンショウ亭 店舗マップ

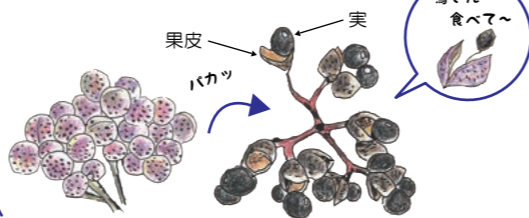
鳥に食べられたカラスザンショウの実  
は遠くへと運ばれる。糞と共に排出された  
タネは運が良ければ発芽する  
こうして、そくそくチェーン展開中！



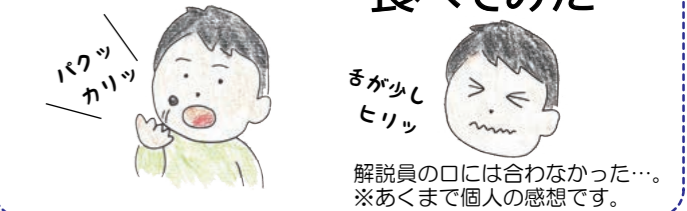
【カラスザンショウ亭 店舗情報】  
アクセス：駅近（全店舗 御岳山駅より30分圏内）  
営業時間：冬季限定（11月～1月頃）  
席数：少人数～大人数まで  
貸切：不可  
注意：食材の実が無くなり次第閉店となります。  
ご了承ください。

# カラスザンショウの実

果皮が熟すとパカッと割れて  
中から黒い実が。御岳山では11月頃熟す。  
果皮と実は、糸のようなものでくっつき  
落ちない仕組み。これは、鳥に食べて  
もらうための作戦！スゴい～



# おまけ 試しにひとくち 食べてみた



解説員の口には合わなかった…  
※あくまで個人の感想です。

# 検証結果 来客数 12種

カラスザンショウ亭には、冬に見られる鳥の  
約3割が来店していた。小鳥からカラスまで  
幅広い鳥の砂肝を…いや胃袋をがっちりとかむ  
繁盛店だった。